

川崎障害者就業・生活支援センター／中部就労援助センター

令和元年度 事業報告

○主任就業支援担当者1名、就業支援担当者6名(うち1名は定着支援担当)を配置し、センターの各種業務を行う。また、法人本部職員が本事業の事務補助を行う。

主任就業支援担当者 1 名、就業支援担当者 6 名を配置し支援業務を行った。

(1)相談・支援の実施

○障害者及びご家庭等からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の課題や悩みについて、必要な指導及び助言その他の援助を行う。また、地域の様々な相談支援機関とも連携を図るなど、必要に応じてチーム支援も視野に入れた支援を行う。

○障害者に対する相談・支援

- ・支援対象障害者数 931 名
- ・相談支援件数 9322 件

○事業主に対する助言

- ・支援対象事業所数 302 事業所
- ・職場訪問件数 892 件

○就労件数 75 件

○職場実習等のあっせん

- ・あっせん件数 94 件

○主な相談支援内容

- ・精神発達障害者の相談件数が引き続き増加しており、精神障害者の就労件数も過去最高となった。
- ・生活面でのサポートが必要なケースが引き続き増加している。また、ひきこもりなど就労に遠い層へのアプローチにおいては、幅広い機関や社会資源との連携が求められている。
- ・地域の関係機関と情報交換や連絡を密に行いながら、多様化するケースに迅速に対応していける体制づくりを目指している。
- ・年間を通して就労移行支援事業所の見学会を実施し、就労から遠いと言われる層への働きかけを強化した。

○障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする。

○職場体験実習を積極的に活用。3日以上の実習は年間 94 件を実施。その他の2日以内の就労意欲向上などを目的とした実習も併せると年間 160 件を実施した。

- ・就労困難者層(就労経験無し、もしくは乏しい人、離職後のブランク期間が1年以上経過する人など)へ実習参加を積極的に呼び掛け、参加に繋げている。

○事業主に対し、障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う。

○定着支援では、企業 OB 職員の経験を活用し、定期訪問など企業に対する定着支援を実施した。

- ・ 障害者雇用部会企業分会に参加し、定期的に職場定着に関する意見交換や情報交換を行なった。
- ・ 障害者雇用についての企業向けセミナーに参加し、雇用に関する課題や知的、精神・発達障害者の特性や関わり方をテーマとした講演を行った。

○令和1年7月30日

川崎障害者就業・生活支援センター主催 企業向けセミナー（三菱ふそうトラック・バス株式会社）

『知的障害の障害特性と雇用管理のポイント』

○令和1年10月31日

川崎市主催 令和元年度川崎市労働災害防止研究集会

『障害者雇用に対する課題と労働災害』

○令和2年2月5日

川崎障害者就業・生活支援センター主催 企業向けセミナー（楽天ソシオビジネス株式会社）

『発達障害の就労者への関わり方を考える』

(2)職場定着促進のための在職者の交流活動の実施

- ・ 在職中の障害者を対象に、就労生活を送る上で必要な事や、職場の悩み等を話し合う機会を定期的に提供し、不適応課題の早期把握・改善を図り職場定着の促進を図る。テーマ、対象者、講師については、開催時点で一番必要だと思われる内容に焦点を絞りながら検討していく。（年5回の開催）
- ・ 就業に伴う日常生活や社会生活面の充実を図るべく、余暇活動の場を年に複数回設定し、お互いの交流や気軽な相談場所としての位置づけを目指す。

○第1回 6月28日実施

参加者 64名

「ぼうさい授業 ～地震・津波について学ぼう～」

○第2回 7月27日実施

参加者 15名

「～年金について学ぼう～」

※精神障害者の就労者を対象に実施

○第3回 9月13日実施

参加者 11名

「身だしなみを整えよう！」

※就労5年目までの就職者で知的・発達就労者向けに開催

○第4回 10月25日実施

参加者 41名

「おなか元気教室 ～健康管理について学びを深めよう！～」

※就職して6年目以上の知的・発達就労者向けに開催

○第5回 1月25日実施

「就労者の会」

※精神・発達就労者向けに開催

○就労者同窓会の他、ボーリング大会や鉄道好き集まれ等のイベントを実施した。

(3)就業支援担当者の研修等

- ・障害者職業総合センターにおける就業支援担当者研修に出席し、就労支援のノウハウを体系的に学ぶと同時に、他センターとの交流・情報交換を行う（就業支援担当者2名が参加）

○5月21日～5月24日

就業支援担当者研修を受講

○8月6日～8月9日

就業支援担当者研修を受講

(4)障害者就業・生活支援センターブロック別経験交流会議に出席し、他センターとの交流・情報交換を行う。（主任就業支援担当者1名、就業支援担当者1名が参加）

○11月8日南関東ブロック経験交流会議を受講

(5)関係機関との連絡会議の開催

○労働局、ハローワーク、職業センター、教育機関、福祉機関、医療機関、川崎市、精神・発達等の関係機関との連絡会議を実施し、各機関との連携を図る。（年1回）

○連絡会議を以下の通り開催し、関係機関との情報交換を行った。

日時：令和2年1月16日（木）15:00～

場所：富士通ユニオンビル会議室

参加機関：神奈川労働局、神奈川職業センター、川崎公共職業安定所、川崎北公共職業安定所、就労移行支援事業所、就労支援機関、など計24機関、計29名参加

(6)中小企業における障害者支援担当者に対する支援の実施

○川崎市障害者雇用促進ネットワーク会議

（主催：企業応援センターかわさき）

- ・第1回6月10日

参加者 74 名

「障害者雇用の事例とポイント解説」

・ 第 2 回 8 月 6 日

参加者 50 名

「障害のある社員の活躍を生み出す職場はこうつくる」

・ 第 3 回 10 月 25 日

参加者 70 名

「障がい者雇用のための企業交流会はじめての一步」

・ 第 4 回 12 月 5 日

参加者 40 名

「雇用支援の仕組み」

・ 第 5 回 2 月 10 日

参加者 70 名

「優しい雇用へのアプローチ」

・ 川崎市労働福祉協議会主催「働く者のフェスタ」にて障害者雇用相談実施（11 月 2 日）

(7)ピアサポート活動の実施

○就労の「力」セミナー

（知的障害対象）

・ 第 1 回 8 月 21 日

参加者 16 名

「講義：働かってどんなこと」

・ 第 2 回 8 月 27 日

参加者 9 名

「会社見学：三菱ふそうトラック・バス株式会社」

・ 第 3 回 8 月 28 日

参加者 11 名

「会社見学：株式会社ベネッセビジネスメイト」

・ 第 4 回 8 月 29 日

参加者 19 名

「会社見学：楽天ソシオビジネス株式会社」

○就労の「力」セミナー

（精神・発達障害対象）

・ 第 1 回 10 月 2 日 参加者 22 名 「当事者体験談」

- ・第2回 10月30日 参加者45名 「短時間雇用説明会」

○高津区役所出張相談

日時：4月26日 5月24日
6月28日 7月26日
8月23日 10月25日
11月22日 12月20日
1月24日 2月21日
3月27日

時間：14：00～16：00

場所：高津区役所会議室

(8) 生活困窮者等のうち障害が窺われる者への支援

○第1回困窮と障害のネットワーク会議

- ・日時：11月19日(火) 14：00～16：00
- ・参加：10機関 17名参加

「川崎障害者就業・生活支援センターとは」

「生活困窮者自立支援制度及び生活保護制度における障害者就業・生活支援センターと連携した取り組みの推進について」

「事例(2事例)をもとにグループワーク」

(9) センターが持つノウハウの他の就労支援機関等への移転推移

○川崎中部地区就労支援ネットワーク会議

- ・第1回 6月24日
「登録者層から見る新たな就労者層への支援について」
- ・第2回 8月21日
「定着支援について」
- ・第3回 10月17日
「短時間雇用プロジェクトについて」
- ・第4回 12月18日
「中部地区就労移行事業所合同相談会」
- ・第5回 1月16日
「障害が窺われる生活困窮者及び生活保護受給者への支援について」(ナカポツ連絡会として開催)

全体会

○就労移行支援者勉強会

- ・第1回 9月17日 参加者15名
「K-STEP 事例検討」
- ・第2回 2月17日開催予定
「K-STEP 企業・医療機関との連携」